

全学年 単元名「昔の漁法・地引き網体験をしよう」(3時間)

1 単元設定の理由

本校校庭の奥に大きな岩がある。その岩は、『いわし見張り岩』と称し、昭和初期までは、漁師がその岩の上から、大型魚(クジラ等)に追われてやってきたイワシの大群を見張っていた岩だ。本校用務員も小学生のころ、この岩からイワシの大群を見たそうだ。イワシそのものを見張るといふより、大群に群がる海鳥・カモメ・ウミネコの飛来を見ていた。大群に群がる海鳥が確認できたら、「イワシの大群だ！浜に集まれ！」と叫び、村人を集めた。地引き網漁は、引き子が最低でも30名が必要だったそうだ。引き子①側から網を沖へ半円状に回し、引き子②側へ網の先を渡す。今は、船もエンジン付き、網を巻き上げる装置もあるが、当時は人力での漁であった。このことから、地引き網漁の仕組みを知り、実際に網を引く体験を通して、漁の大変さや人的協力の大切さを理解させるために、この単元を設定した。

2 単元目標

- ① 地引き網は、江戸時代～大正、昭和初期まで行われていたことを絵や写真から理解できる。
- ② 網をどのように回していくのか、漁の仕方が理解できる。
- ③ 昔の漁、地引き網を体験し、海と関わる活動の楽しさや面白さを実感できる。
- ④ 社会科の水産業の発展として、様々な漁法について調べ、まとめようとする。

3 単元の評価基準

- ア：昔の絵や写真を観察し、そこから江戸～昭和初期まで行われた漁法であることが分かったか。
- イ：網をどのように回し、魚を獲っていたのか理解できたか。
- ウ：海と関わる活動の楽しさや面白さを実感できたか。
- エ：巻き網、底網等、様々な網の使い方、様々な船を使って漁をしていることがわかったか。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	<p>○「いわし見張り岩物語」のお話から、昔の漁の仕方や方法について学ぼう。</p> <p>①校舎内学習・・・PPTのスライドを見せる</p> <p>②屋外・・・「いわし見張り岩物語」紙芝居を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いわし見張り岩物語」は、PPT資料は、学校PCにあり。 ・紙芝居セットを使う。網や引き子役の寸劇も披露すると漁の仕方が良くわかる。
2 本 時	<p>○白浜海水浴場隣の砂場で地引き網体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き子役、4列に整列させる(①～④) ・漁船から網の先端1が、引き子①②に投げられる ・半円を描き、網の先端2が、引き子③④側へ ・引き子①～④は、網を引いていく ・筒状の網の中に入っている魚やカニを取り出す ・獲物は、皆で分ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドマイクを使って、解説しながら作業を行わせる。 ・引き子は軍手着用 ・網は5mくらい引いたらまた網の先端へ行く、これの繰り返し作業を行う。
発 展	<p>○皆でカニ汁を食べよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・※時間的の余裕と鍋釜の準備が整えば、カニ汁を作って、食してから解散にしたい。
<p>外部連携 / 教材等 深久保漁業生産部会、深川商会、八戸市観光課</p>		